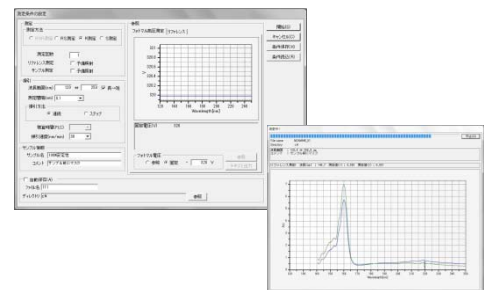


NEW!!

KV-202 卓上型真空紫外分光光度計



透過測定試料ホルダ



KV-202 卓上型真空紫外分光光度計は、弊社独自の窒素パージタイプの分光器（KV-200）を使用することにより従来の真空対応タイプに比べコンパクト・高分解・高安定性を実現しました。

紫外線を放射する重水素ランプからの光は、集光系を経て分光器に入射され、回折格子で分光され、単色光が取り出されます。取り出された単色光は2光路に分離し、一方は光源の変化を保証するモニター用として検出し、もう一方は試料に照射するセミダブルビーム方式を採用し、高安定な透過率スペクトル測定が可能です。

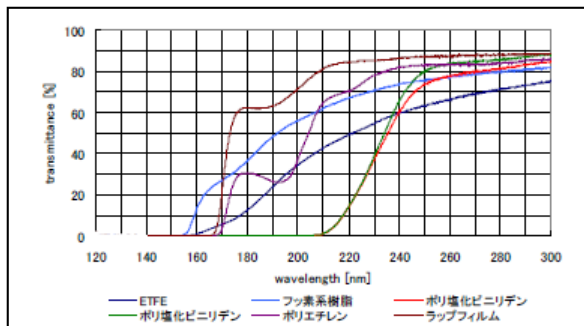
- 波長120～300nm(真空紫外領域) の透過スペクトル測定
- 窒素パージ型分光器採用で、高分解&高安定を実現
- 特殊フィルムや特殊基板などの評価に最適

型 式	KV-202 卓上型真空紫外分光光度計
光 源	重水素ランプ 30W
測定波長領域	120~300nm
測定再現性	±0.3%T *1
波長再現性	0.1nm以内
測定試料形状	試料の大きさ (最小3×3mm ~ 最大12×12mm) 試料の厚み (最小1mm ~ 最大3mm) *2
測定方式	セミダブルビーム方式
検出器	サリチル酸ソーダ窓付光電子増倍管
表示の設定	スケール (縦軸・横軸)、トレース (カーソル移動) スペクトルの重ね書き、スペクトルの表示の消去
データ処理	スムージング、四則演算、1次~3次微分 ピーク処理 (ピーク検出・ピーク高さ・ピーク面積・データダンプ)

*1 波長120~300nm 挿引速度60nm/min 100%平坦性として
*2 別途お打ち合わせにより形状・測定個数等仕様変更可能

■ 測定データ

フィルムの透過率



フィルム状に完成したポリマーの透過率特性を測定したり、厚みによる違いを比較したりすることが可能です。市販されているラップフィルムなどの透過率を測定したところ、かなり短波長までも光が通っていることがわかりました。同じラップフィルムであっても、厚みによって透過率が異なっています。

- 寸法はおおよその大きさです。オプション等により外観および寸法が異なる場合があります。
- 記載の仕様および外観は予告なしに変更する場合があります

■ 標準構成内容

1. 重水素ランプ 30W
2. 重水素ランプ電源
3. KV-200 (窒素パージ専用) 分光器
4. 試料室 (窒素パージ&真空両対応)
5. 透過測定試料ホルダ
6. サリチル酸ソーダ窓付光電子増倍管
7. 光電子増倍管高圧電源
8. コントローラ (波長駆動・フィルタ切換)
9. ソフトウェア (Windows7版)
10. 制御コンピュータ

■ 外形寸法 (単位:mm)

外形寸法 : W800×D630×H500
重 量 : 約70kg
*コントローラ・制御コンピュータ等を除く。



分光計器株式会社

<http://www.bunkoukeiki.co.jp/>

本社・工場	TEL 042-646-4123	〒192-0033 東京都八王子市高倉町4-8
東京営業所	TEL 03-3864-1615	〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-4-5-1202
東日本営業所	TEL 029-857-7066	〒305-0003 茨城県つくば市桜3-3-7
西日本営業所	TEL 06-6323-4502	〒533-0014 大阪府大阪市東淀川区豊新3-24-5 (クリスタルビル2階)